

第16回

生協組合員理事トップセミナーのご案内

日時: 2014/12/13(土) 12:30 開会 ~ 14(日) 12:45 閉会

会場: コープイン京都 申込締切: 10/31(金)

定員 40 名です。
お早めにお申込
みください。

ご参加のお誘い

今夏は、全国各地で豪雨による浸水や土砂崩落など甚大な被害が発生しました。お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りし、被害に遭われた皆さまに心よりお見舞いを申し上げます。

災害や事故はいつどこで誰の身に起こるやもしれません。地域における防災や減災の活動、助け合いや見守りの力を高める取り組みがますます重要になってきています。

一方で、集团的自衛権行使や特定秘密保護法といった憲法に関わる問題や、社会保障制度や税制の改定、TPP への参加など、国や社会の仕組みが大きく変わる論議が進んでいます。

先行き不透明な情勢下において、誰もが安心して暮らせるために、未来に向けて私たちはどのような地域をつくり、どのような社会のあり方を目指せばよいのでしょうか。

「第16回生協組合員理事トップセミナー」は、「協同組合は何のために存在するのか～安心して暮らせる地域や社会をめざして」を全体テーマに開催します。協同組合の価値や組合員理事の役割に関連して何かひとつでも気づきや確信をお持ち帰りいただければ幸いに存じます。

1日目は、基調講演とパネルディスカッション、ワークを通して、組合員の「声をきく」ということを題材に、組合員理事の寄って立つ基盤や協同組合の存在意義について考えます。

2日目は、協同組合の歴史を現代の社会問題にも引き寄せての問題提起を受けて、生協が価値ある存在として未来へ存続するために、今、組合員理事は何にどう向き合うことが大事なのかを考えます。特別講演では、協同組合憲章草案にも触れて、協同組合の真価について考えます。

終了後のお楽しみ、オプションツアーは、世界遺産の東寺を訪れます。通常は非公開の五重塔内部や小子坊なども、今回特別に案内していただけることになりました。

全国の組合員理事の皆さま、生協のスタイルは違っても、お互いに学び合い、大いに議論し、生協・協同組合の可能性とこれからついて一緒に考えていきましょう。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

2014年9月吉日



呼びかけ人 石井美登里 (おおさかパルコープ)、岩佐恭子 (京都生協)
大塚光子 (コープしが)、柴田弘美 (京都生協)
中野素子 (ならコープ)、原田待子 (おおさかパルコープ)
平光佐知子 (コープあいち) ※50音順
主 催 くらしと協同の研究所

くらしと協同の研究所

プログラム

12月13日(土) 12:30~(12:00 受付開始) + 懇親会 + おしゃべりサロン

12:30~12:50 **開会挨拶** 的場信樹 (くらしと協同の研究所理事長)

呼びかけ人挨拶・オリエンテーション 平光佐知子

12:50~13:50 **基調講演** 大高研道 (聖学院大学教授・本研究所研究委員)

協同組合は組合員の声にどのように向き合うのか —学びあう協同の可能性—

商品経済が生活の隅々にまで浸透している現代は、「ヒトとヒトの関係」が「モノとモノの関係」に置き換えられ、物象化された世界によって構成されている。そのような社会において、私たちは「消費者」としての人格をもって他者と接する場面が格段に増えた。そのことは、「消費者」を相手にする生協への期待をいま以上に高めているが、他方で、人びとを消費者や顧客として対象化するプロセスは、助け合いの商品化を促し、結果としてコミュニティを分断させ、人びとを孤立させる契機にもなっている。

ここでひとつ問いたい。「生活協同組合」は、なぜ「消費者協同組合」ではないのか。各々の実践に込められた思いとともに多様な回答があってしかるべきだが、共通して浮かび上がってくるのは、地域生活(暮らし)の総体からともに考え、協同を創りだす人びとの姿ではないだろうか。たしかに、地域のニーズのすべてに応えることは難しいし、「公正な事業」とは何かを真剣に考える良心的な組合員理事や職員ほど、苦悩し、疲弊しているのが実態かもしれない。しかしながら、だからこそ、地域の暮らしの現実から自らを見つめ直し、さまざまな人びとの営みと命の連関のなかで成立している私たちの働きの意味をともに語り、共有し、共鳴する学びあいと行動が求められているのではないだろうか。

初日では、「声をきく」ということを一つの題材に、私たちが寄って立つ基盤を確認し、ともに行動するためのヒントと可能性と勇気を共有する場にできればと考えている。

具体的には、基調講演に引き続き、組合員理事から問題意識を出し合い、その上で、組合員理事の役割に関連させてのグループワーク(ワールドカフェ)の実施を予定している。

14:05~15:35 **パネルディスカッション** コーディネーター: 大高研道

パネリスト: 大塚光子 / 原田待子 / 中野素子 / 岩佐恭子

15:50~17:50 **ワールドカフェ** ファシリテーター: 富沢賢治

18:00~18:20 **まとめ** 大高研道

18:20~18:30 **個人ワーク**

19:00~20:20 **夕食懇親会** 20:30~21:30 **おしゃべりサロン** (当日ご自由にご参加下さい)

12月14日(日) 8:45~12:45 + オプションツアー

8:45~10:05 **問題提起** 杉本貴志 (関西大学教授・本研究所研究委員)

協同組合は何のために存在するのか、その理事とはいかなる存在か

2日目は、協同組合の歴史と社会問題との関わりから、生活協同組合の現代における存在意義と組合員理事のあり方について考えたい。ロッヂデール公正先駆者組合の分裂事件はなぜ起こったのか、その後イギリス生協が歩んだ道はどのようなものだったのだろうか。その道を現代の生協理事として、皆さんはどう考え、評価するのか。

1980年に発表した『西暦2000年における協同組合』において、レイドロウ博士は「消費生協は根本的な転換を図らなければならない」と提言した。その提言は、協同組合原則の改訂という形で世界的に影響を与えたが、皆さんの生協、そして生協の組合員理事としての皆さん自身の考え方には、どう響くのだろうか。

- 10 : 15～11 : 15 **グループディスカッション**
- 11 : 20～11 : 40 **グループ発表**
- 11 : 40～11 : 50 **まとめ** 杉本貴志
- 11 : 50～12 : 30 **特別講演** 富沢賢治（一橋大学名誉教授・日本協同組合学会元会長）

協同組合の真価と組合員理事の役割

組合員理事は、世界の人びとの願いを実現するために活動しています。本講演は、このことを、①理論的に、②国連の見解、③協同組合運動の動向から、明らかにします。

今、世界は貧困と格差の拡大に苦しんでいます。この問題を解決するために国連は、協同組合に大きな期待をかけています。なぜならば、協同組合は多くの人びとの参加を可能とする助け合いの組織だからです。

日本にも多様な生活問題があります。これらの問題を解決するために生協は頑張っています。生協が頑張るためには、組合員のニーズをもっとも身近に感じ、組合員の声を理事会に伝える組合員理事の活動が不可欠です。

組合員理事がその役割を十分に発揮するためには、どうしたらよいのでしょうか。

■参考文献：2012 国際協同組合年全国実行委員会編著『協同組合憲章 [草案] がめざすもの』（家の光協会、2012年、600円）。

- 12 : 30～12 : 40 **振り返り**
- 12 : 40～12 : 45 **閉会挨拶** 柴田弘美 12 : 45 **終了**
- 13 : 00～16 : 30 **オプションツアー〈詳細別紙〉** 16 : 30 **現地解散**

講師プロフィール

おおたか けんどう
大高 研道 氏（聖学院大学教授・学長補佐／くらしと協同の研究所研究委員）

昨年初めて参加させていただき、とても多くの刺激と学びの機会をいただきました。とにかく、みなさん元気で、大学のゼミ以上に活発な議論にただただ圧倒された2日間でした。今年はセミナーの1日目を担当させていただきます。幼少時代に生協の子育て教育文化活動に触れ、大学の卒業論文で協同組合研究の世界に足を踏み入れ、現在はワーカーズコープを中心とした「協同労働」論の研究をしています。「人間はなぜ協同（協働）するのか」というテーマに人間発達・主体形成という観点からアプローチしています。

日本社会教育学会（編集委員）、日本協同組合学会（常任理事）所属。

近著（共著）として、『闘う社会的企業』（勁草書房 2013）、『協同組合 未来への選択』（日本経済評論社 2014）、『協同組合は「未来の創造者」になれるか』（家の光協会 2014）など。

すぎもと たかし
杉本 貴志 氏（関西大学教授／くらしと協同の研究所研究委員・『くらしと協同』編集長）

1963年名古屋市生まれ。1985年慶応義塾大学経済学部卒業。

慶応義塾大学大学院経済学研究科博士課程、日本学術振興会特別研究員、生協総合研究所客員研究員等を経て、関西大学商学部教授。協同組合論・生活協同組合論担当。

くらしと協同の研究所『くらしと協同』編集長。本セミナーには、第2回から関わる。

共著書に、『協同組合 未来への選択』（日本経済評論社、2014年）、『協同組合を学ぶ』（日本経済評論社、2012年）、『食と環境』（晃洋書房、2008年）、『生協は21世紀に生き残れるのか』（大月書店、2000年）など。共訳書に、J・バーチャル『国際協同組合運動』（家の光協会、1999年）、J・バーチャル『コーポラティブズ・ビジネス』（大月書店、1997年）、『西暦2000年における協同組合〔レイドロー報告〕』（日本経済評論社、1989年）など。

とみざわ けんじ
富沢 賢治 氏

(一橋大学名誉教授/日本協同組合学会元会長)

1936年、埼玉で生まれる。社会学博士。

一橋大学経済研究所教授、聖学院大学政治経済学部教授を経て、現在、協同総合研究所・副理事長。日本協同組合学会の元会長。2012 国際協同組合年全国実行委員会が設置した協同組合憲章検討委員会の委員長。

所属学会は、協同組合学会、社会政策学会、国際公共経済学会。

研究テーマは、社会的経済と協同組合。

主要業績 『非営利・協同入門』(同時代社、1999年)、『社会的経済セクターの分析—民間非営利組織の理論と実践』(岩波書店、1999年)など。

募集要項

【募集人数】 定員40名

【参加対象】 生協の組合員理事(非常勤理事) 2日間とも参加できる方に限ります。

【申込締切】 10月31日(金) 先着順で定員に達し次第、締切らせていただきます。

【参加費】

①セミナー参加費	18,000円(当研究所会員)/20,000円(非会員)
②夕食懇親会費	5,000円 ビュッフェ形式
③宿泊費	8,800円 コーピン京都(シングル・朝食付)
④オプションツアー	4,500円 世界遺産「東寺」特別拝観と京料理のお弁当

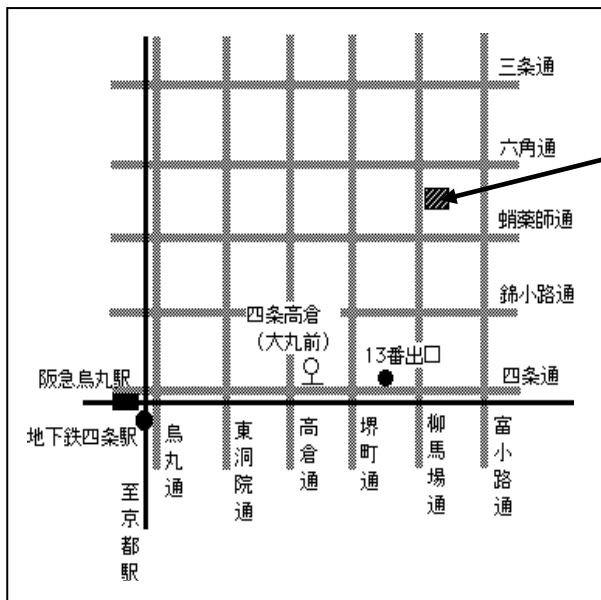
※②③④は希望者のみ

【スケジュール】 10/31 申込締切 → 11/5 事前課題発送 → 11/30 事前課題提出必着

【お支払方法】 請求書をお送りしますので、指定口座にご入金ください。

【キャンセル】 事前課題発送後は追加募集できかねますのでキャンセルのないようお願いいたします。やむを得ずキャンセルの場合、次の費用を申し受けますことをご了承下さい。
○11/22~12/4=参加費30% ○12/5~12/11=参加費50%、宿泊10%
○前日・当日=参加費100%、懇親会・宿泊80%、OPツアー30%

会場案内



コーピン京都

京都市中京区柳馬場蛸薬師上ル井筒屋町411

電話：075-256-6600

最寄駅：市営地下鉄「四条駅」or 阪急「烏丸駅」から徒歩約13分。

四条通地下道からは13番出口が近い。

くらしと協同の研究所

京都市中京区夷川通烏丸東入る西九軒町291

せいきょう会館2F(〒604-0851)

TEL: 075-256-3335

FAX: 075-211-5037

E-mail: kki@ma1.seikyone.jp

URL: <http://www.kurashitokyodo.jp>